

簡易刃研ぎ（ラッピング）方法

警告



電源プラグ
を抜く

・刃物を手入れする前には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。



必ず守る

・刃研ぎの際は、必ず手袋などで手を保護し、刃先に十分注意してください。けがの原因になります。

- ・刃の部分が摩耗すると、リール刃と固定刃との隙間が不均一となり、切れ味が悪くなります。
- ・刃の微少な摩耗に対して有効ですが、割れ、欠けなどのある刃物は、復元できません。新品と交換してください。
- ・簡易刃研ぎは、作業面積 約 50 坪を目安に行なってください。
(作業時間 1 時間)



総作業面積 500 坪（作業時間 10 時間）を超えると、刃が摩耗して十分な刃研ぎの効果が得られなくなります。

次の手順で簡易刃研ぎを行なってください。

1. カバーを開きます。



2. 切換スイッチを『刃研ぎ』側に切換えます。



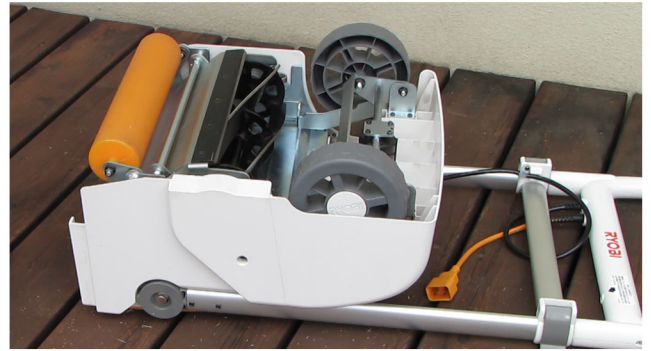
切換スイッチが『停止』の位置では、スイッチレバーを引いてもスイッチは入りません。



切換スイッチ

3. 六角棒レンチを取出します。

- ① ハンドルを折りたたみ、本体を右図のように裏返します。



- ② 六角棒レンチ（5mm）はハンドルに収納してあります。



六角棒レンチ

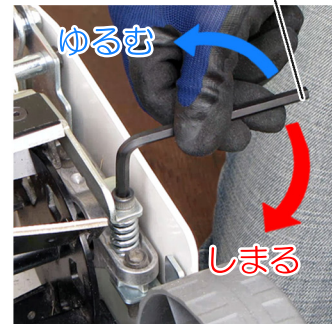
4. すり合わせを確認します。

※ 刃の摩耗した部分を確認します。

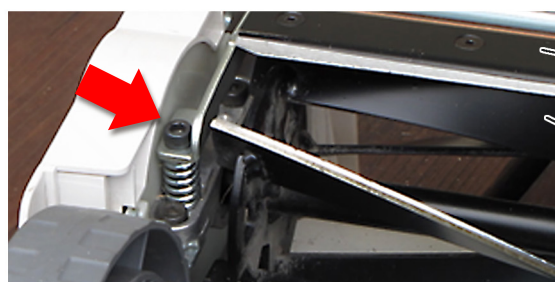
- ① 六角棒レンチで固定刃の左右にある六角穴付ボルト（すり合わせ調整用）を回し、すり合わせ調整をします。矢印方向（締まる）に回すとすり合わせは強くなり、矢印方向（ゆるむ）に回すと弱くなります。



六角穴付ボルト（すり合わせ調整用）



六角棒レンチ



固定刃

リール刃

② 固定刃とリール刃の間（左端、中央、右端の3箇所）にハガキ・またはハガキと同じくらいの厚みの紙をさし込み、手でリール刃を回し、紙の切れ方を確認します。

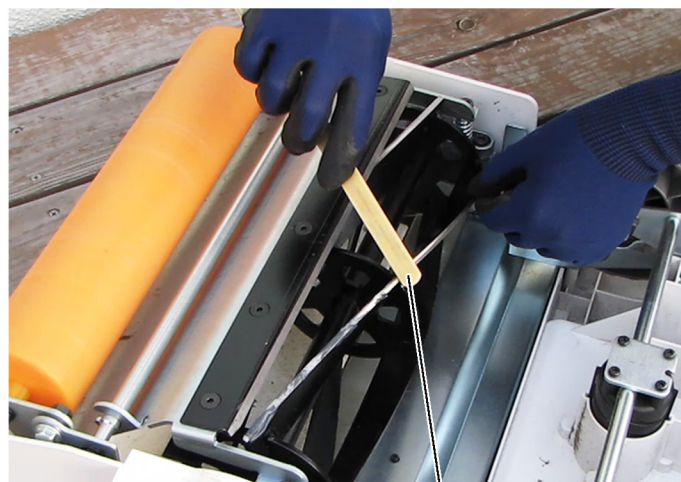
※ 紙は固定刃に対して垂直にさし込んでください。



5. 刃研ぎ用研磨材を塗付します。

付属のブラシに刃研ぎ用研磨材を少量付け、すり合わせで確認した刃が摩耗していない部分（ハガキの紙がよく切れる刃の部分）に刃研ぎ用研磨材を塗付します。

※ リール刃は回転させながら刃物に塗付してください。



ブラシ



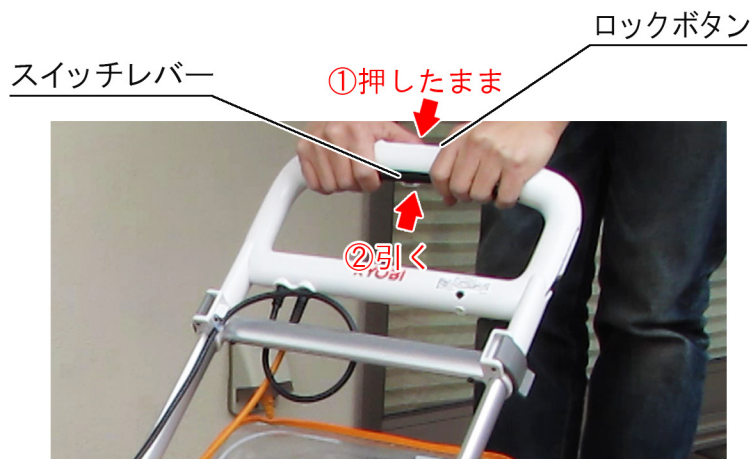
このとき、ハガキ（紙）が切れない部分は刃が摩耗しているところです。刃研ぎ用研磨材を塗付しないでください。

6. スイッチレバーを引き、研磨します。

① 本体を元の位置に戻し、グラスキャッチャーを取付けた後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

② スイッチレバーを引き、研磨を行います。

※ 約1～2分運転を続け、刃の接触がしなくなったら運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜きます。



7. 刃に残った刃研ぎ用研磨材をふき取り、切れ味を確認します。

- ① スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ② リール刃と固定刃に付いた刃研ぎ用研磨材のカスをふき取ります。
- ③ 4-②の要領で刃の切れ味を確認します。

8. 4～7の作業を繰り返し、リール刃と固定刃の全面でハガキ（紙）が切れるようになったら、研磨終了です。

9. 切換スイッチを『芝刈り』側に切換えてください。



切換スイッチが『停止』の位置では、スイッチレバーを引いてもスイッチは入りません。

10. 六角棒レンチをハンドルに収納します。



切換えスイッチ